

新年度がスタートです。新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。ご両親様におかれましては、大学受験という一大事業を終え、一息つかれている頃かと思えます。一方で、教育システムのめまぐるしい変化、青少年の心の問題などを見聞きし、戸惑いや不安を感じておられるかもしれません。

青年期には、誰でも

少なからず心のバランスを崩すものです。急速に大人に向かう時期、猛スピードに成長中ですから、バランスよく伸びるはずがありません。背は伸びても顔は幼いまま、というアンバランスな肉体であるように、心もアンバランス。ある部分は成長

して、ある部分は未熟なまま、という状態です。たとえば、「自立心は大人なみ、思慮深さは子どもなみ」「思考力が成熟したのに、行動力が伴わない」…そんなことありませんか？

このようなアンバランスさは、もろく危うく見えますが、成長過程を進んでいる証でもあります。

大半の青年は、成長過程のアンバランスさから来る問題や苦しみを経て、自分自身を知り、受容し、安定を取り戻してゆきます。バランスの崩れが大きくなりすぎて、専門的なケアが必要となる場合もあります。適切な治療や休息、あたたかな語り合いを通じ、ゆっくりと健康を取り戻してゆきます。

ご家族から見ると、

学生相談室  
だより56  
カウンセラー 阿部千香子

もどかしいことでしょう。専門家の言う「お子様を信頼して、本人のペースで」が子どものためとわかっていても、「這えば立て、立てば歩めの親心」や、我が身におきているかのような心配を抱き、先回りするのが親の情というもの。親御さん

のお話をお聴きすると、親の行動とは、それが子どもの望まぬことであっても、深い無償の愛からやってきているもの、と頭の下がる思いです。愛あればこそ、信頼と心配の塩梅は難しいものです。

学生相談室では、ご家族からの相談にも応じております。どうぞ、お気軽にご利用ください。